

## 平成 23 年度 事業概要

財団法人ウッドワン美術館（広島県廿日市市）から依頼された「ファン・ゴッホ《農婦》の調査研究プロジェクト」を平成 23 年 8 月に実施した。

### 「ファン・ゴッホ《農婦》の調査研究プロジェクト」

本調査は、財団法人ウッドワン美術館所蔵のファン・ゴッホ《農婦》を自然科学的手法を用いて分析調査し、使用された絵具や下絵の有無、彩色方法における特徴をわり出し、オランダ時代のファン・ゴッホの制作の有り方を知ることが目的である。プロジェクトチームは、ウッドワン美術館が主体となり、ファン・ゴッホ作品の美術史を専門とする研究者、ファン・ゴッホの絵画技法の再現を専門とする研究者、そして文化財総合研究センターからは分析調査を専門分野とする研究員、西洋美術品修復を専門とする研究員で構成した。

文化財総合研究センターにおいて、平成 23 年 8 月 19 日から 8 月 23 日の間、実体顕微鏡による絵具層の状態観察、赤外線照射による素描の観察、紫外線照射による補彩部分の観察、軟 X 線透過画像解析による修復時の充填箇所および使用されている絵具層の分布状況を観察した。また、放射性同位体を励起源とする蛍光 X 線非破壊分析から多重層の絵具に由来する元素情報を、そして X 線分析顕微鏡によって平面上に幾重にも重なり広がっている絵具層に由来する元素分布状態をマッピング画像によって解析した。

分析調査結果は、平成 23 年 10 月 22 日、平成 24 年 1 月 21 日の二回の会議で討論され、平成 24 年 3 月 24 日から 6 月 10 日の会期で開催されるウッドワン美術館展覧会「ファン・ゴッホ農婦の真相に迫る」において発表する。

